

テロ事件に巻き込まれないための基本予防策と対処法



海外旅行のテロ・誘拐対策

テロ事件は予測するのが難しい……

でも、普段からの心掛けと対処で被害を最小限に抑えることができます！

予防策

銃撃・爆発事件の発生を予測することは難しく、防ぎようがないと思われるかもしれませんが、しかし、銃撃・爆発事件の発生場所、時間帯などには「傾向」があります。それを知るだけでも、事件に巻き込まれる可能性を下げることができます。また、運悪く巻き込まれても、行動の仕方によっては被害を最小限に抑えることができます。

基本！

危険な国・場所・時間帯を避ける。
(「海外安全ホームページ」で情報収集)

用心を怠らない 目立たない。
(直接の標的とならないために)

周囲の不審者・不審物に注意を払う。
(大きな荷物、不自然な厚着等)

万が一に備える。
・「たびレジ」で連絡先を登録する。
・非常口等、退避ルートを確認する。
・隠れられる場所を確認する。

対処法

万が一銃撃・爆発事件に遭遇してしまっても、パニックにおちいらず、被害をより小さく食い止めるよう努めることが重要です。爆発の規模、発生場所等によりその対応は様々ですが、大事な点は以下のとおりです。

銃撃・爆発事件に遭遇した場合は、必ず現地の日本国大使館又は総領事館に連絡することもお忘れなく。

もし…

爆発音・銃撃音を聞いたら…
その場に伏せる。
頑丈なものの陰に隠れる。

事件現場に居合わせたら…
周囲を確認し、可能であれば、銃撃音等から離れるよう速やかに、低い姿勢を保ちつつ、安全なところに退避する。

建物等の下敷きになったら…
体力の温存を心掛ける。
有害物質を吸い込まない。
パイプなどを叩き居場所を伝える。

事件に遭遇したら…
大使館・総領事館に連絡する。

3つのポイント



危険な国・場所に近づかない

テロ・誘拐・武力衝突の多発する地域には決して旅行しないでください。また、一国の中でもテロの対象となる可能性の高い地域や施設があります。「海外安全ホームページ」(<http://www.anzen.mofa.go.jp/>)で渡航先の最新の治安情勢を確認しましょう。

銃撃・爆弾テロにも予防策あり

観光地でも爆弾テロが発生しています。渡航先の治安情勢ととるべき安全対策をしっかりチェックしてください。「海外安全アプリ」や「たびレジ」を活用すれば、旅行中も正確な情報がわかります。

身近に迫る誘拐の脅威

現地の人に誘われるままについて行って拘束され、金品を巻き上げられるケースや、空港で乗ったタクシーでそのまま誘拐されるケースもあります。警戒心を絶やさずに！

外務省領事局邦人テロ対策室

海外旅行前にまずは情報収集を!

「外務省海外安全ホームページ」

<http://www.anzen.mofa.go.jp/>

海外旅行を楽しむためには、十分な情報収集と安全対策が欠かせません。外務省の「海外安全ホームページ」には、テロ・誘拐事件の傾向、危険地域、テロや誘拐対策パンフレットなど、旅行ガイドブックにはない重要な情報が掲載されています。

「海外安全ホームページ」活用のポイント!

「海外安全情報」をチェック!

国別に設けてある「海外安全情報」の中で、特に注意が必要な国・地域については「危険情報」、「スポット情報」、「広域情報」等を出しています。

「危険情報」を目安に旅行のプランニング

危ない国・地域に行かないことがテロ・誘拐事件などの被害に遭わないための一番の予防策です。

「海外安全アプリ」で旅行中もチェック

旅行に携帯するスマートフォンに「海外安全アプリ」をダウンロードすれば、旅行中も最新情報がチェックできます。

*「レベル4:退避勧告」・「レベル3:渡航中止勧告」が発出されている地域(例:イラク、アフガニスタン等)にはどのような目的であれ、渡航は止めてください。

*「レベル2:不要不急の渡航中止」地域への不要不急の渡航は止めてください。渡航する場合には特別な注意を払うとともに、十分な安全対策をとってください。

*「レベル1:十分注意」地域への渡航、滞在に当たって危険を避けていただくため特別な注意が必要です。

*「危険情報」が出ていない場所でもテロが発生していますので、テロに対する一般的な注意事項を確認しましょう。

外務省代表

電話番号：(代表) (03)3580-3311

領事サービスセンター

電話番号：(直通) (03)5501-8162

領事局邦人テロ対策室(海外におけるテロ事件、誘拐、脅迫、ハイジャック、人質事件)

電話番号：(直通) (03)5501-8165

領事局海外邦人安全課(上記以外の一般邦人保護、緊急事態の邦人保護等)

電話番号：(直通) (03)5501-8160

たびレジ

<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/>

海外安全アプリ

App Store または Google Play で「海外安全」で検索

危険な場所・時間とは

テロや誘拐事件は世界各地で増加しています。近年、公共交通機関やホテルなど、一般旅行者も利用する施設で銃撃・爆弾テロが発生する例が増えています。また、これまでにテロがなかった国でも発生しています。しかし、各国の事情を踏まえ、以下の点に注意することによりテロの被害に遭う危険性を下げることができます

外国関連施設・宗教施設



□国によっては外国関連施設がテロの標的になっています。

□国によっては宗教関連施設でテロ事件が発生しています。

例) アジア・アフリカ・中東での外国大使館・外国系銀行を狙った爆発事件
アジア・中東の宗教施設での爆発事件

リゾート地・ホテル



□十分な安全対策をとっているホテルを選ぶ。
□ホテルの入り口、フロントなど、いろいろな人が簡単に立ち入ることができる場所にいる時間をできるだけ短くする。

例) 中東・アジアの首都・リゾートのホテル等での自爆テロや銃撃事件

市場・繁華街・観光スポット



□人混みや外国人が多く集まる場所にはできる限り近づかない。
□ガラスを多く使用した建造物の周辺は通行しない。
□夜間、特に深夜の外出は控える。

例) 中東・アジア・欧州等の市場・繁華街での銃撃・爆発事件

公共交通機関



□国・地域の治安事情にあわせて交通手段を選ぶ。
□周囲の状況に注意し、不審な人物・物がないかを確認する。

例) 欧州の地下鉄・バス・航空機での自爆テロ
アジアのバスターミナルでの爆発事件

銃撃・爆弾テロ事件

観光地・リゾート地



□目立つ服装・行動を慎む。
□見知らぬ人物には決してついていけない。
□空港の到着ロビーなどで、日本語を巧みに使い近づいてくる人には十分に注意する。
□あやしいタクシー(白タク等)には乗らない。

例) 夜間中南米の空港で到着客をタクシーにより誘拐
アジアで観光客を、いかさま賭博に誘い込み、その後身柄を拘束
リゾートアイランドでの高速艇による誘拐

誘拐事件